



「当たり前」のことが「当たり前」にできる 宝物に！

「コロナ禍、こうして修学旅行ができることに感謝の気持ちを持ち、いい修学旅行にしましょう。」6年生修学旅行出発式での代表児童の挨拶です。近くへの日帰り修学旅行ですが、できることは何かなど、自分たちで考えての旅行でした。このような気持ちを持ち、思い出に残る修学旅行となり、子どもたちの思いや姿に感心しました。



「学校のために、僕たちのためにありがとうございます。」先日、校内でパソコン関係の配線工事をする業者の方々へ挨拶する低学年の児童が数名いました。「学校のために・・・」こんな言葉をつけての挨拶です。業者の方が笑顔で、「3倍も4倍も頑張れます。」と喜んでくれました。この挨拶を聞いた私もうれしくなりました。

うれしいことが毎日あります。朝、元気よく挨拶できる児童がたくさんいます。遠くから挨拶できる児童もいます。地域の方にも挨拶できる児童もいます。地域の方は笑顔になります。このときの双方の笑顔も素敵です。挨拶ができると、心が温

かくなります。きっと児童もそうだと思います。「なぜ、心が温かくなるか？」よく考えてみると、相手のことを思って挨拶ができているからだだと思います。その気持ちも伝わってきます。朝の挨拶だけではなく、授業の始めや終わりの挨拶、全員がそろってできると授業や会を気持ちよく始めることができ、その後の聴く姿勢や学習にも集中できます。「心を伝える挨拶・返事（いきいきあいさつ）」が当たり前に行える児童が多くいます。この2学期は、挨拶から学習姿勢までよい姿が増えました。



挨拶だけでなく、相手のことを思う場面や言葉は多くあります。例えば、けがをしたとき、「だいじょうぶ?」、困ったときに「～してあげようか」、助けてもらったとき「ありがとう」など相手のことを考えた思いやりのある言葉などをよく聞きます。全校で仲間のよさを見つける活動を行っています。お昼の放送で紹介しています。

コロナ禍、2学期の宝物、それは、仲間と共に力を合せた運動会、仲間と協力し隅々まできれいにする「心を映す清掃・整頓（もくもくそうじ）」、この清掃活動では、ほうきの後に続



いてぞうきんで隅々までみがく姿、静かにもくもくとできるところが多くあり感心しました。授業では自分の考えをみんなにわかるように説明しています。「心を耕す授業・読書（どうどうじゅぎょう）」です。



うれしいことがある毎日です。「当たり前」のことが「当たり前」にできることを自信につなげていきます。保護者・地域の方々子ども達に関わってくださっていることに感謝しています。本当にありがとうございます。

12月の行事予定

- 12月 2日 (水) 3年食育学習
- 4日 (金) 委員会
- ~~5日 (土) 資源回収~~ ⇒ 中止
- 7日 (月) 1年縄跳び教室
- 11日 (金) クラブ
- 15日 (火) 分団子ども会
- 16日 (水) 4・5年スケート教室
- 18日 (金) 委員会
- 25日 (金) 終業式 (給食有) 5時間授業
- 26日 (土) 冬休み～1月7日
- 28日 (月) 閉庁日

1月の行事予定

- 1月 1日 (金) 元日
- 4日 (月) 閉庁日
- 8日 (金) 始業式 (給食有) 5時間授業
- 11日 (月) 成人の日
- 14日 (木) 3・6年スケート教室

行事予定は、現時点の予定です。新型コロナウイルス感染予防を考え、延期、中止、または形を変えて実施することもあります。どうかよろしくお願いいたします。



11月2日 (月) に後期児童会の任命式を行いました。前期の児童会から引き継いだこと、新たに後期挑戦することを、3名の児童が代表して語ってくれました。後期の児童会メンバーの活躍を期待しています。



11月24日 (火)・25日 (水) に5年生が「のこぎり引き体験」をしました。学林委員の皆様にお手伝いをしていただき、丸太を苦労しながら切ることができました。切った丸太は各自家に落ち帰りました。



11月13日 (金) と19日 (木) に6年生が修学旅行に行ってきました。1日目は馬籠、博石館。2日目は明治村です。例年とは違う修学旅行でしたが、楽しく思い出に残る2日間を過ごしました。